

今週のメニュー

■トピックス

◇樹脂サッシが建築学科の教科書に掲載

■随想

◇サイバー大学の環境講義担当について（2）

サイバー大学客員教授 三吉 正芳

■トピックス

◇樹脂サッシが建築学科の教科書に掲載

塩ビ工業・環境協会では、昨年度より樹脂サッシの更なる普及拡大のため、西日本の11の大学・高専で使用される「建築材料」、「建築施工」の教科書に樹脂サッシを入れてもらえるように担当の先生に働きかけを行ってきました。本年度改訂された朝倉書店の「建築材料」の8章高分子材料の部分と、理工図書の「建築施工」の8章その他の工事の建具・ガラス工事に樹脂サッシが記載され出版される運びとなりました。

欧米では樹脂サッシが当たり前として使用されていること、震災以降省エネルギー対策で需要が拡大していることから欠かすことのできない商品となってきたことが今回の掲載への決め手となりました。

建築材料では、初登場ということで樹脂サッシの歴史、構成（何で出来ているか）、性能（樹脂サッシの良さ）、普及率、今後の展開について述べさせていただきカラーページに写真を掲載させていただきました。



建築施工では、開閉形状、木製・アルミ・樹脂のそれぞれの特長と取付け方そして最後にコラムで樹脂サッシの成り立ちから現状までの紹介を入れさせていただきました。

卒業後、即戦力として8割以上の学生が役所・設計事務所・ゼネコン・ハウスメーカーなどの建築関連に就職して活躍していくことになるが、教科書を通じて樹脂サッシの良さを理解してもらうことは、これからの普及に大きな役割を果たすと考えています。

また、こうした西日本の大学・高専だけでなく、全国の大学・高専・工業高校はたまた小中学校の教科書に普及していく活動を行っていくことが、塩ビのイメージを上げ良いプラスチックとして消費者に認知してもらえとと考えています。

■ 随想

◇サイバー大学の環境講義担当について（２）

サイバー大学客員教授 三吉 正芳

前回のディベート欄の続きです。次のような投稿もしました。

私は英語力の低下防止のためと、最近のアメリカビジネス界の動き、アメリカの市民生活、働く人の意識の変化などの知識吸収のため、NHKラジオの「実践ビジネス英語」（杉田 敏先生）の放送を長年、聴いています。

テキストの内容には、環境問題も含まれていて、大変、参考になっています。これまでも、食品廃棄ロス、サステナビリティ、不揃いな農産物、スローな生き方、モノを捨てられない病など、興味あるテーマのビニエツト（ミニドラマのような会話）などがありました。

やはり、日本と同じような高齢者の自動車免許返却問題も登場していました。また、ネット販売の急増に伴う郊外型ショッピングセンターの閉鎖なども直近のテーマでした。



神奈川県地球温暖化防止活動推進員の活動場面

そうしたなかで、ミレニアル世代（1980年代、1990年代生まれ）の新しいライフスタイルがあります。アメリカではフリーエージェント的な考え方をもち、1つの職に長く留まらない人が増えてきているようです。その一つが、「ブーメラン社員」とのことです。昨年からはビニエツトで登場していました。

一度、その会社を辞めた社員が、また、その会社に戻って来ているという現象だそうです。驚きました。ところが、4月25日の日経の記事に「ブーメラン活用広がる」というのがあり、またまた、驚きました。「転職する社員の賃金が上昇傾向になるなか、いったん退社した元社員を再雇用する企業が日本でも増えてきた。若手の採用は教育に時間と費用がかかるが、業務経験があり、職場をよく知るブーメラン社員は即戦力として期待しやすい。活用が広がれば企業の生産性向上にもつながる。厚生労働省は4月24日、経団連や経済同友会に対し、いったん辞めた社員の再入社を可能にする制度を企業がつくるよう要請した。」とありました。時代の変化を感じます。出産退職の女性の復帰への大きな後押しにも確実につながる動きかとも思います。

また、専門の環境問題でも、今年の5月号にはNY市での環境配慮、健康増進などによる自転車通勤の増加が取り上げられていて、参考になりました。こうした点に熱心な取り組みをする企業が、ESG（環境、社会、企業統治）投資の面からも高く評価される時代になってきているようです。

また、4月号でギグエコノミーという言葉もビニエツトに登場していました。これは、インターネットを介して単発または短期の仕事を請け負う非正規労働で成り立つ経済形態

で、アメリカではかなり普及してきているようです。仕事は一つではなく、いくつもの仕事を掛け持ちするという現象のようで、日本にも、そうした動きが出てくるのでしょうか。副業を認める動きは、日本でも注目されて来てはいますが。ブーメラン社員、ギグエコノミー、賛否はあるでしょうが、大きな時代変革を感じます、というような投稿をしました。

「興味あるので、さっそく、テキストを買い、聴いて見ましたが、英語のレベルが高く、ついて行けませんでした。」という投稿もありまして、反省です！それで、「私も予習をしっかりとしないと、ついていけないレベルですので、頑張っています。大変、参考になる内容が多いので、486円のテキストを購入して、読むことから始めるのもお勧めします。また、英語力復習には私は「基礎英語3」をテキストなしで、朝、よく聴いています。」と投稿しました。(笑)

(つづく)

⇒ [バックナンバー](#)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp
